

杉戸町出前座談会「すぎトーク」意見交換記録（要旨）

- 注文者 内田団地町内会（15 - 2区）
- 開催日時 令和6年7月24日（水）13時30分～15時
- 開催会場 内田住宅コミュニティーセンター 参加者数 16名
- テーマ 高齢化に伴う住民の医療、互助、問題
杉戸町学童安全育成について（旧子ども会再発足）

ご意見・ご要望	町の考え方
○杉戸町に総合病院建設時期と現状は。	<p>病院については、杉戸町内の東武動物公園駅周辺に誘致することが望ましいと考えていましたが、財政面や時間的な面での問題を考慮しますと、残念ながら町内での土地の確保は困難な状況です。</p> <p>そのため、同じく東武動物公園周辺における病院誘致に取り組んでいる宮代町とともに、この地域で病院の誘致ができるよう、国や県に要望活動等を行っているところです。</p> <p>なお、病院を新たに誘致するためには県の病院整備計画に基づく病院の公募が行われることが必要になりますが、現時点で、杉戸町を含む利根保健医療圏では、病院の公募がなされていないので、新たな病院を誘致することができないのが現状です。</p> <p>しかしながら、将来的に町民の皆様が安心して暮らせる環境づくりには、命と健康を守る医療環境の充実が必要であると考えております。</p>
○病院建設までの暫定措置として、高齢者の通院補助金として、タクシー料金の補助金を出せないか。	<p>タクシーの補助については、巡回バスを利用した人を対象にタクシーの補助を考えております。</p>
○デマンドバス、デマンドタクシーを早急に実施してもらいたい。	<p>デマンド交通については、導入することで移動の利便性の向上につながるものと認識しております。しかしながら、町民アンケートの結果や費用対効果、交通事業者とのバランスの観点から、現在は巡回バスの運行を継続しております。</p> <p>今後、デマンド交通の導入については、社会情勢の変化に合わせ、町民の皆様のご意見や、地域公共交通関係者との協議、費用対効果等を踏まえながら引き続き検討してまいります。</p>

ご意見・ご要望	町の考え方
<p>○杉戸町の高齢化の進捗状況は、また、一人暮らし高齢者、引きこもり高齢者の対策は。</p>	<p>当町の高齢化の状況ですが、6月現在、65歳以上の方の高齢者人口は、14,840人、高齢化率でいいますと約33.9%となっております。高齢化率は今後も上昇が続き、2040年には4割を上回る見込みとなっております。</p> <p>高齢になっても健康で安全に一人暮らしを続けていくには、周囲からの何らかの配慮や支援が必要であります。町では現在、介護保険によるサービスに加え、人とのつながり（見守り・安否確認）にもつながる緊急通報システムや配食サービス、住民ボランティアによるゴミ出し支援など、一人暮らしの高齢者への支援を提供しております。</p> <p>一人暮らしの高齢者の社会的孤立を防ぎ、健康的で充実した生活を支援するために、これらの対策を総合的に考え、個々の高齢者の状況に応じて柔軟に対応してまいります。</p>
<p>○一人暮らし高齢者に対して、町と町内会で一体的な見守り体制はできないか。</p>	<p>町では現在、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク事業」を実施しております。</p> <p>町内会も町と「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワークに関する覚書」を締結することにより、関係機関としてネットワークの一員となり、町及び他の関係機関と一体となった見守り体制を構築し、地域全体の安全と安心を向上させることが可能となります。</p>
<p>○当団地の高齢化の割合は、50パーセントを超えていると思われるが、独居老人への対応と対策として、「すぎと高齢者よろず電話相談」や「民生委員の活動」はあるが、高齢者への精神的、経済的なサポートをしてほしい。</p>	<p>一人暮らしの高齢者への精神的サポートにつながるものとして、町では「シニアサロン」への支援を実施しております。</p> <p>また、経済的サポートといたしましては、町では現在、介護保険事業や緊急時通報システム、配食サービスの各事業において、一定の要件を満たす場合、利用者負担の一部助成を実施しております。</p>
<p>○若者を増やす町の対策は。</p>	<p>当町では、移住定住の促進を図るため「子育て世帯移住・定住促進奨励金」を交付しております。この制度は、町外からの転入や、町内転居又は町内の建替えにより、住宅を取得された子育て世帯に対して、住宅1戸につき20万円、2人以上の子どもがいる世帯には10万円の加算で補助を行っているところであります。</p> <p>今後も、まちの魅力や奨励金等の制度についての情報発信を強化することで、当町への来訪や定住に結び付けられるよう、努めてまいります。</p>

ご意見・ご要望	町の考え方
○地域外から当団地内のゴミ捨て場等にゴミが持ち込まれている。ゴミ持ち込み防止に町の協力を望む。	町では、不法投棄防止の一環として、ゴミ持ち込みの注意を喚起すべく看板を配布しておりますので、看板の設置をお願いいたします。
○国道に架けられた歩道橋の太平ホーム側の階段下側のスペースが狭隘のため、大変危険である。歩道橋は通学路となっており、階段下側では、歩行者と自転車が交錯し、いつ重大事故が起こってもおかしくない状況である。歩道橋の老朽化も激しく架け替えを要望すると共に、歩道橋を現在の位置より西側に2～3m程、移動して設置してもらいたい。町から国へ強い要請をお願いしたい。	現在、県道事業（都市計画道路 東武動物公園駅東口通り線）として本陣跡地前交差点から国道4号までの区間を道路幅員20mでの整備を実施予定となっております。 当該、歩道橋も道路部分に該当しているため、今後、国及び県と協議し、移設・撤去等を含めて検討してまいりたいと考えております。
○団地北側（町道沿い）排水溝に泥土が堆積し、夏場に害虫が多く発生するため、泥土の撤去をしてほしい。また、安全策のフェンスが経年劣化で激しいため、塗装の補修をお願いしたい。	水路内の一部に草が生えているのを確認しておりますので、早急に除草を実施したいと考えております。泥土については、約2センチメートル溜まっているのを確認しておりますので、他の市街化区域内水路と共に計画的に実施してまいりたいと考えております。 また、経年劣化により塗装の剥がれたフェンスの修繕につきましても、延長が約370メートルと長く、費用が高額となるため1回で行うことは、困難な状況となっております。予算の範囲内で複数年に分け段階的に実施してまいります。
○当団地敷地内の調整池は、大膳堀に至る周辺地域の洪水対策のために設けられた公用インフラ施設の一つと考えます。調整池周囲のフェンスの老朽化が進んできたことから、危険防止のため工事を町にお願いしたい。	調整池につきましては、内田団地を建設する際に、開発行為による内田団地敷地内からの雨水流出を抑制し、周辺地域への雨水被害軽減対策のために設けられたものと認識しております。 こちらの調整池敷地は内田団地の敷地内であることから、町においてフェンス工事を実施することは困難であると考えております。
○子どもの地域育成と子どもたちの故郷づくりのための補助金制度を設けてほしい（子ども会が全町的に解散し、町内会（各地区）で子どもの見守りや住民との交流等を実施している。みんなでつくるまちづくり支援制度とは別の制度の設置）。	直ちに補助金制度を設けることは難しいと思っておりますが、貴重な御要望として受け止め、近隣自治体の実績や取組等について調査・研究してまいります。
○当団地内で持ち主所在不明の空き部屋があり、鳩の糞や害虫、埃等で隣の住民から苦情が出ている。戸建て同様「空家対策の推進に関する法律」を適用して、町の空家対策問題で検討できないか。	「空家等対策の推進に関する特別措置法」は、団地等の共同住宅について、全ての住戸が空室である場合などが対象となります。このため、ご要望いただいた団地内の所有者不明の空き部屋につきまして、空家法の対象外となることをご理解いただければと思います。
○コバトンALKOOやラジオ体操の参加者に対し町独自の表彰等を検討してもらいたい（宮代町や川口市で実施）。	何らかの方法で支援や感謝の意を表したいと考えております。
○「カルスタすぎと」のグラウンド側南駐輪場への屋根設置を強く要望する。	現地の利用状況、設置費用等を勘案しながら、検討させていただければと思います。

ご意見・ご要望	町の考え方
<p>○昨今、創業後、100年も続いている立派な企業という意味を込めて、100年企業と銘打ったTVコマーシャルを見かける。そこで、人口統計からも今後の推移がある程度見込める今、今後の100年間を見据えた100年自治体構想があっても良いのではないかとの思いから、まさにSDGsの実現に向けた「すぎと100年計画」を町の基幹計画として立ち上げることを提言します。</p>	<p>可能な限り長期的な視点でまちづくりに努めてまいりたいと考えております。</p>